



KUMAMOTO

GREEN Rotary-Club

The Weekly Bulletin

Kumamoto green rotary club district 2720 rotary international

IMAGINE
ROTARY2022～
2023年度
テーマ

国際ロータリー

「IMAGINE ROTARY」 R.I. 会長 ジェニファー E. ジョーンズ

地区方針

「ロータリーは つながりで あふれている」

R.I. 2720 地区 ガバナー 堀川貴史

熊本グリーンRC

「エブリワン・スマイル・グリーンロータリー」

熊本グリーンRC 会長 田中慎二

■例会日：毎週月曜日 18:30～19:30
■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル
TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：田中慎二 ■幹事：宮部康弘 ■会報担当：山下佳介
■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内
TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@serc2720.org

国際ロータリー
第2720地区

熊本グリーンロータリークラブ週報

第1475回

令和5年4月3日

2022 - 2023 年度 第31回

【例会】

★コロナウイルス感染防止の為、ロータリーソングは「マスク着用」にて歌唱。

- ・君が代
- ・ロータリーソング「友と語ろう」

1. 閉会・点鐘 18:30

2. 食事と交歓

会長スピーチ (江上泰弘 会長エクト)

先週の例会は、青柳での観桜会でしたが、楽しい時間を過ごすことができました。親睦委員会の皆さん、ありがとうございました。

今日、桜町のグリーンクラブの桜を車から見てきました。可愛い花が咲いていました。他では、まだ8分咲きや満開の桜が見られました。花びらが散って、青葉の見える桜もあれば、8分咲きの桜もあり、今年の桜は少し例年とは、違うような気がしました。同じ気候の中でも植物の受け取り方や感じ方が違って開花の時期がずれたのかなと感じました。

今、社会や国会でも話題になっている

グリーンロータリー・クラブの例会日がきても、出席するかどうか決めるには及びません。

というのは、私にとって出席は決まりきった事だからです。これは、ロータリーに入会したとき受入れた義務の一つです。

多様性という言葉の思い浮かべるところでした。

ニュースや今、行われています統一自治選挙の候補者のパンフレットやチラシにも多様性やダイバーシティやLGBTなどよく目にしたり耳にするようになったように感じます。

以前にみんなが使っていた言葉にバリアフリーがありました。高齢者や障害を持つ人が日常生活や社会生活を送る上で障壁を取り除くことです。

他にもユニバーサルデザインという言葉もありました。年齢や障害の有無、体格、性別、国籍などを問わず多くの人が便利に利用できることを目指した建築や製品や情報などの設計のことを言っていました。

このバリアフリーやユニバーサルデザインから発展してダイバーシティやLGBTなどの言葉が必要になってきたのかと思います。

自分とは違う価値観や立場の人の存在を理解して、誰もが平等に平和に過ごせる社会を構成する事がこれからの人とし

卓話予定

- | | | |
|------|-----------------------|-------------------------|
| 4/10 | 会員紹介卓話 | 西村 和真会員・宮部 康弘会員 (15分づつ) |
| 4/17 | 会員紹介卓話 | 仙波 洋八会員・栗山 義則会員 (15分づつ) |
| 4/24 | 会員紹介卓話 | 河島 一夫会員・河野 景治会員 (15分づつ) |
| 5/1 | 例会取り止め (定款第7条第1節に基づき) | |

[熊本グリーンRC ホームページアドレス] <http://www.kgrc.com/>

での在り方の方です。

幹事報告 (宮部 康弘 幹事)

●報告事項 (その他のロータリー関係)

「公共イメージ委員長会・試写会」開催のご案内

各クラブでの映画の配給の提案と卓話の資料作りの勉強会を行いますので、次年度公共イメージ委員長の皆様は是非ご参加下さい。ご欠席の場合は次年度副委員長か代理の方のご参加をお願いします。

日時:令和5年6月10日(土)

試写会会場:日田シネマテーク・リベルテ

勉強会会場:「寶屋(たからや)」

試写会:14:00~16:00(受付 13:00~)

山本起也監督の「のさりの島」天草市本渡町のアーケード街で撮影された映画です。「特殊詐欺」が題材ですがメッセージ性より少し考えさせられるミステリアスでコミカルな内容。

トークショー:16:00~16:30(山本起也監督と原館長とのトークショー)

勉強会:17:30~18:00

懇親会:18:00~20:00

<例会変更・取り止め>

●例会変更

[熊本南 RC]

・4月17日(月)の例会は、地区大会のため、4月15日(土)に変更し、13:00より、人吉スポーツパレスにて行います。尚サイン受付は行いません。

●例会取り止め

次の例会は、定款第7条第1節に基づき、取り止めます。

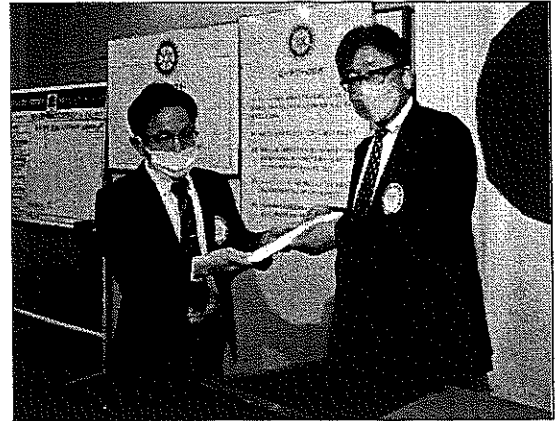
[熊本西南 RC] 4月27日(木)

慶 事

(親睦担当 田中純司 会員)

【4月のお誕生日】

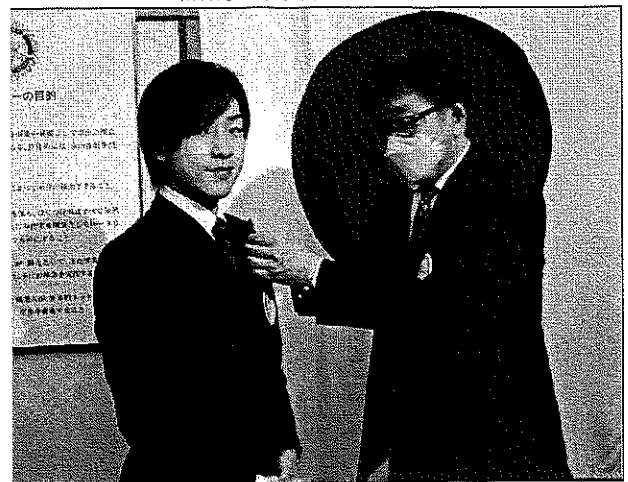
山口 翼 会員 S63. 4. 22
田中富美子夫人 4. 28



Happy Birthday, dear fellows!

【新入会員入会式】

齋藤 義鷹氏入会式



齋藤 義鷹(さいとう よしたか) 会員(24歳)
勤務先 株式会社 Y. GROUP 代表取締役
職業分類 ラウンジ
推薦者 山口 翼会員
趣味 ゴルフ

スマイル

(荒木一之 クラブ管理運営委員 (スマイル担当))

●江上 泰弘 君、宮部 康弘 君

「本日の会員紹介卓話、山下さん、西本さんのお話楽しみです。よろしくお願い致します。又、齋藤さんようこそグリーンロータリーク

ラブへ。これから沢山楽しい事をしましょう。」

●山口 翼君

「本日より齋藤さんが入会されました。まだ、24歳と凄くフレッシュな若手です。皆様これから齋藤さんをよろしくお願い致します。」

●本田 悟士 君

「先週の観桜会は急な仕事の都合で顔出しのみしてパタパタ帰ることとなりました。皆様とゆっくり話すのも美味しい食事とお酒を楽しむのもお預けとなり残念でしたが、6月の家族会・歳祝会を待たずに、毎月の飲みが始まることを期待してスマイルします。」

●河野 景治 君、栗山 義則 君、荒木 一之 君

「齋藤君の入会を祝します。」

「山下会員と西本会員の卓話に感謝のスマイル申し上げます。」

出席報告 (出席担当 西本周平 会員)

	会 員 総 数	22 名	出席率
4 月 3 日	出席免除会員数	0名	54, 55%
	計算上会員数	22 名	
	出席会員数	12 名	
3 月 6 日	前回の出席会員数	12名	61, 90%
	メイクアップ数	1名	
	修正出席会員数	13名	
メイクアップ済み会員及びメイクアップ訪問先			
・3/ 8 ローターアクト例会 河野 君			

3. 例会プログラム

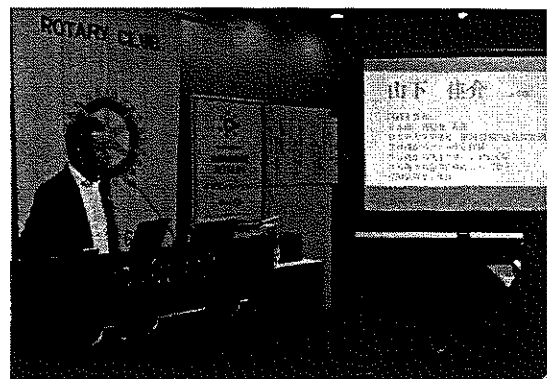
卓話者:

- ・西本 周平会員 (15分)
- ・山下 佳介会員 (15分)

演 題 「会員紹介卓話」



西本 周平会員



山下 佳介会員

4. 閉会・点鐘

*例会終了後、定例理事会開催。

RI日本事務局 財団室 NEWS

【被災しながらも救援に尽力するヒーローたち】

2月6日、午前4時過ぎ。ここ数世紀で最も死者数の多い大地震が、オヌル・カラバイさん一家の住む6階建てアパートを大きく揺るがしました。

「1分半にわたって建物が激しく揺れた」とカラバイさん(ガズィアンテプ・イペ キョル・ロータリークラブ会員)は振り返ります。

カラバイさんが住むトルコ南部の都市ガズィアンテプは、震源地の近く。妻とともに大声を出して二人の子どものもとに駆け寄り、靴や上着、電話、カギなど持てる必需品をかき集めて玄関まで行ったときに、最初の余震が来ました。

アパートから出て市外の田舎にある平屋建ての家に避難しました。一部屋に約25人が寝泊まりして寒さをしのぎ、電気はなく、冬の夜の気温は零下にまで下がります。マグニチュード7.8の地震、そして相次ぐ余震により、トルコとシリアで数万人が命を落とし、複数の都市の大部分ががれきと化しました。

家や持ち物を失いながらも何とか避難した数万人のトルコ・シリア市民と同じく、アフメット・イルケル・スアットさん(ガズィアンテプ-アレベン・ロータリー クラブ会長)は行き場を失い、妻・娘と一緒に車内で寝泊まりしています。

2023-24年度 目標

2023-24年度財団地域コーディネーター

第一地域 飯村 慎一

第二地域 伊藤 靖祐

第三地域 永田 壮一

3年余り続いた新型コロナウイルスの感染も減少傾向となり、政府のウィズコロナ政策で少しずつ対面式の会合も増えてきました。日本のクラブも通常の例会が増えてきているように感じます。その中で、ロータリー会員の皆様にはロータリー財団への寄付、人道的奉仕活動への参加等、ロータリー活動へのご尽力に感謝申し上げます。

昨年度は佐藤芳郎RI理事のお声かけもあり日本のすべての地区で「世界ポリオデー」のイベントを開催していただきありがとうございました。日本のロータリー会員が一つのイベントで繋がって行動を起こせたことに感動と勇気をいただきました。これからもポリオが世界から根絶されるまで続けてまいりましょう。ご不明な点があれば各地域ポリオ根絶コーディネーター(EPNC)にご相談ください。

重点分野に加わった「環境」では、日本でも多くのクラブが海洋・河川の環境保全に取り組んでいます。また、ウクライナへの人道支援、

パキスタンへの災害支援はもとより、最近起きたトルコ・シリア地震にもロータリーの支援が始まっています。こうした人道的支援を行うためにもロータリー会員の皆様からのロータリー財団への寄付が必要です。地区の人道的奉仕活動の資金源となる年次基金へのご寄付、大口寄付、恒久基金・冠名基金などを知って頂くのはもちろんの事、自動定期寄付など持続的で確実な寄付の方法を周知していただくよう、ロータリー財団地域コーディネーターと補佐(RRFC、ARRFC)、恒久基金／大口寄付アドバイザー(E/MGA)、ポリオ根絶コーディネーター(EPNC)で力を合わせて進めてまいります。

新しい手続要覧(2022)では、新たに「ロータリーの戦略計画」が追加されました(P6~7)。その中で、「世界中で持続可能な変化を生むための新たなビジョンの実現に向けて行動する時が来ている。」と述べています。私たちロータリー会員は今行動しなければなりません。Take Action! です。微力ながら、私たち地域リーダー(ロータリーコーディネーター、公共イメージコーディネーター、ロータリー財団地域コーディネーター、恒久基金／大口寄付アドバイザー(E/MGA)、ポリオ根絶コーディネーター)が協働してクラブやロータリー会員の行動計画に貢献していければと願っています。また、次年度はロータリーアクトクラブが積極的にロータリー財団に関わっていけるような活動も考えて参りましょう。

次年度(2023-24)の日本の目標を次の通りいたします。各クラブへのご周知をよろしくお願いいたします。

・年次基金	・1人当たり150ドル ・年次基金寄付ゼロクラブゼロ達成を継続する ・Every Rotarian Every Year(年次基金への寄付)の推進 ・ポール・ハリス・ソサエティの推進(各地区+30名目標)
・ポリオプラス基金	・1人当たり30ドル (1,500ドル以上の寄付をしたクラブには、財団から感謝状が贈られます。)
・恒久基金	・冠名基金を各地区1件以上設立(個人・クラブ・地区いずれも可)
・大口寄付	・寄付の種類にかかわらず、1万ドル以上のご寄付を日本で100件「大口寄付 0地区」ゼロを目指す ・AKSを日本全体で10名増やす - 中期目標として、2~3年で「AKS 0名地区」ゼロを目指す
・DDFの活用	・各地区期末DDF残高ゼロを目指す ・DDFの20%をポリオプラスへ寄贈(寄贈した地区は表彰状が贈られます。) ・ロータリー平和センターへの寄贈 ・7つの重点分野への寄贈
・奉仕活動の推進	・「世界ポリオデー」に地区やクラブでイベント企画・実施 ・グローバル補助金・地区補助金の活用促進 ・ロータリー平和フェローシップの推進